



JV Smart Future



効果的な消臭
健康な家畜
清潔な環境
持続可能な畜産



日本ベトナムスマートフューチャー株式会社
JAPAN VIETNAM SMART FUTURE JOINT STOCK COMPANY (JVSF)



NEMA1

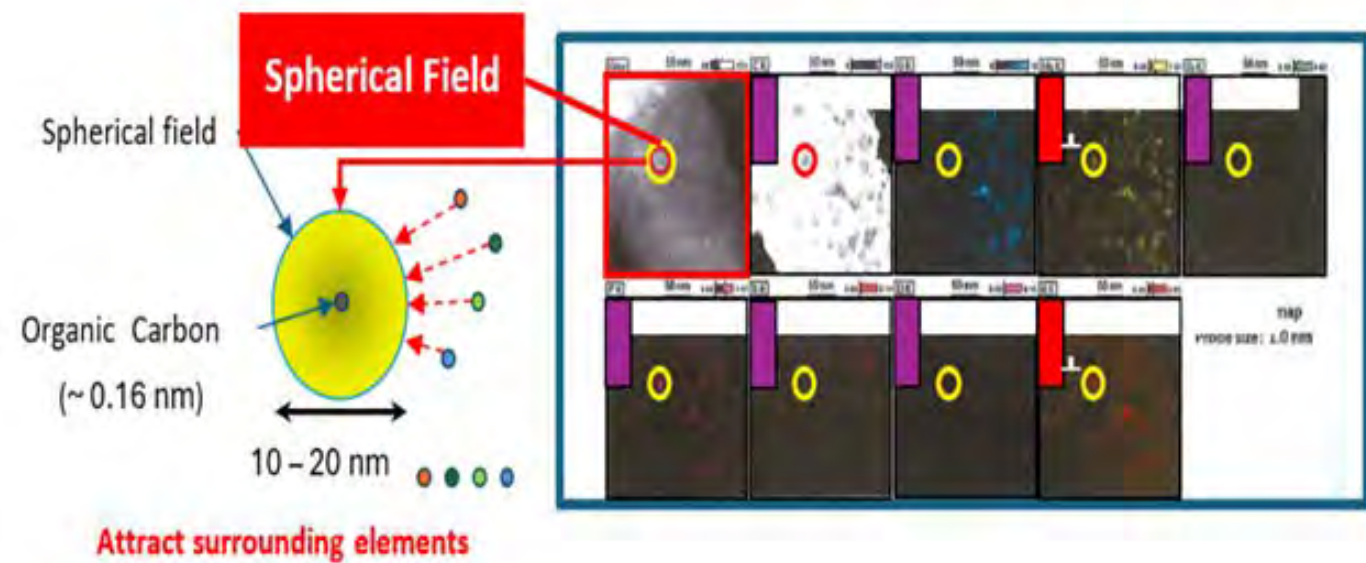


炭素有機について

炭素有機物は日本発の新しい材料であり、特別な製造プロセスを通じて原子レベルでセルロースを加工する方法で作られています。
これは自然界には存在せず、完全に現代技術によって合成された材料です。



有機炭素材料は、イオンを非常に良く吸収する能力を持ち、炭素元素の活性な同素体です。そのため、有機炭素材料は他の物質を容易に引き付け、廃棄物を迅速に分解し腐敗させます。



NEMA1について

カーボン有機の商業製品は、日本の最新技術と生産ラインを使用してJVSF社によって製造されています。

製品特性

炭素有機物(有機炭素)であり、微生物ではなく、化学物質でもありません。
粉末状、黒色、水に容易に拡散。
アルカリ性 (pH > 8)、優れた抗酸化作用。
人間と動植物に対して絶対的に安全です。
包装仕様: 250グラム (標準)、その他の仕様は注文に応じて。



Nema2: アルカリ性 (pH>8)



Nema2: 高い抗酸化性 (ORP < -200)



NEMA1 - 優れた製品

完全に自然で、有機的(オーガニック)で、環境への悪影響を制限し、健康的な生活環境を作り出します。
家畜の抵抗力を高め、病気にかかる率を減らします。
炭素有機物は、H₂S、NH₃などの畜産における有毒ガスを迅速に処理し、廃棄物の分解プロセスを加速し、バイオガスシステムの効率を向上させます。
現代的なアプリケーションソリューション、コスト削減、省力化、少ない投資コスト。
絶対に人間やペットに安全です。
pH>8 - 有益な微生物の発展を促進します。



養豚場

JVSFは、飼育舎におけるNEMA1自動噴霧システムの導入を提案します。

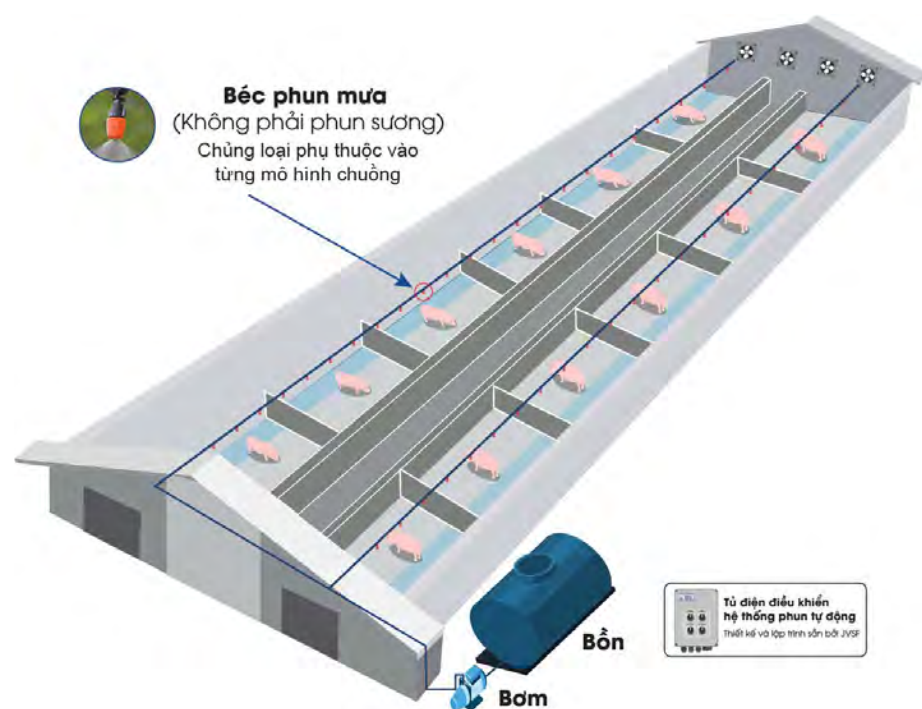
NEMA1自動噴霧システムの優れた利点：

短時間のスプリンクラーシステムは環境の湿度を上げず、家畜の呼吸器系に影響を与えません。

時間枠に従って自動的に噴霧するシステムで、労働力を節約します。

JVSFは、各農場の特性に応じた噴霧システムの設計と運用を提供します。

さらに、JVSFはNEMA1を冷却システム (Cooling pad)、排気ファン後の臭気処理システム、集水槽システムに応用しています...



使用効率:

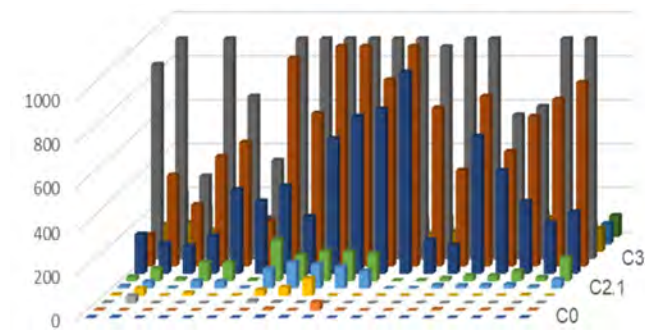
畜産における臭気を引き起こす有毒ガスの処理: NH_3 , H_2S ... 動物の抵抗力を高め、病気にかかる豚の割合を減らします。

自然に病原体を運ぶハエや動物を追いつかう。

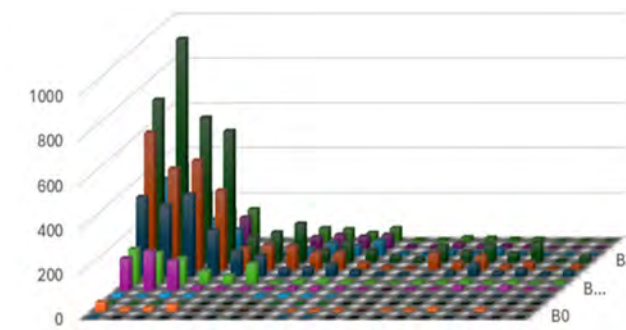
廃棄物の分解を迅速化し、バイオガスシステムの効率を向上させます。

廃棄物はNEMA1で処理され、高品質の有機肥料となり、土

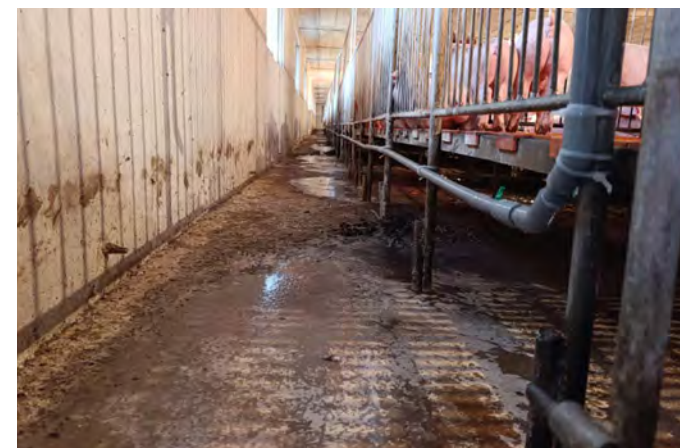
壌をふかふかにし、有益な微生物が豊富になります。制限することで環境への悪影響を減らし、清潔な生活環境を作り出します。



NEMA1を使用しない畜舎での臭気測定統計



NEMA1を使用した畜舎での臭気測定統計



NEMA1 - 豚離乳用の飼育舎内スプレーアプリケーション



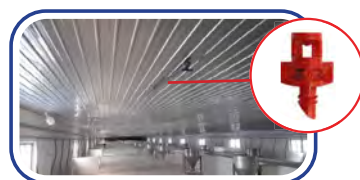
NEMA1 - 豚舎における肥育豚の応用



外部配電盤



電気キャビネットのバルブを取り付ける



スプリンクラーが取り付けられました
畜舎に置く



タンクとポンプ



システムが噴霧中

小規模農家の豚飼育

使用説明書

用量	必要な噴霧面積	頻度	使用
20g/10リットルの水	100 m ²	少なくとも1回/日	均等に噴霧する場所は、臭いが発生する場所、例えば畜舎の床、排水溝、糞尿の集積および処理エリア、排水エリアです。

噴霧器具: ニーズに応じて、背負式噴霧器または高圧噴霧器を使用できます。

使用効率:

- 有毒ガスの処理: NH₃, H₂S… 畜産業における。
- 動物の抵抗力を高め、病気にかかる豚の割合を減らします。
- 自然に病原体を運ぶハエや動物を追いつかう。
- 廃棄物の分解を早め、バイオガスシステムの効率を高めます。
- 廃棄物はNEMA1で処理され、高品質の有機肥料を形成し、土壌をふかふかにし、有益な微生物が豊富になります。
- 環境への悪影響を制限し、健康的な生活環境を作り出す。



NEMA1 における牛、乳牛の飼育

使用説明書

段階	用量	必要な噴霧面積	頻度	使用
4週間使用	2 g/l または 40 g/ 20 リットル	200～300 m ²	週に3回	廃棄物を含むすべてのエリア（畜舎、排水溝、収集ピット、廃水処理システム）および緑地を噴霧します。
使用維持	1 g/L または 20 g/20リットル			

噴霧装置・機器:

機械設備: タンクと加圧ポンプ（ディーゼル／ガソリンエンジン）またはPTOポンプ（トラクターのシャフトから直接駆動）を備えた装置で、トラック、トラクター、またはフォークリフトに取り付けられます。

携帯型機器: 狭いエリアに適した、背負い式のガソリンエンジン噴霧器です。

自動システム: 大規模農場向けに定期的な噴霧を統合するため、JVSFによって特別に設計されたシステムです。

もたらされる効果:

臭気処理: 糞尿が分解され、発生源からの悪臭が軽減されます。

健康の改善: 牛群の抵抗力を高め、病気の感染率を減らす。

制限ハエ、病原体を運ぶ動物を防ぐ。

原料地域の土壌改良: 廃棄物は有機炭素で処理され、高品質の有機肥料となり、土壌がふかふかで有益な微生物が豊富になります。

環境への悪影響を制限し、清潔な生活環境を作り出す。



NEMA1 における家禽飼育

家禽飼育業界では、さまざまな種類の農場があります。そのため、JVSFは使用目的に応じてコストを最適化するために、多くのNEMA1アプリケーションを提供しています。

NEMA1と従来の家禽飼育モデル

使用方法	用量	必要な噴霧面積	使用
ベドリッターを作成する	30〜40グラム	1トンの充填材	推奨: 20リットルの水で希釈します。水の量は技術要件や充填材の湿度に応じて調整してください。NEMA1を希釈した水を床材に均等に噴霧します。効果を高めるために、混合機を使用することも可能です。
飼育時の臭いの処理	20〜40グラム	200-300 m ² 飼育小屋	20リットルの水で希釈 (推奨)。飼育過程で家禽の量に応じて廃棄物と年齢に応じた混合比率の調整 NEMA1。NEMA1を肥料の層に均等に噴霧するマット、飼育床、廃棄物収集ピット、...

噴霧器具: 肩掛け式の20リットル電動スプレーを使用することをお勧めします。



NEMA1 - アプリケーションは鶏舎用



NEMA1 - アヒル農場用アプリケーション

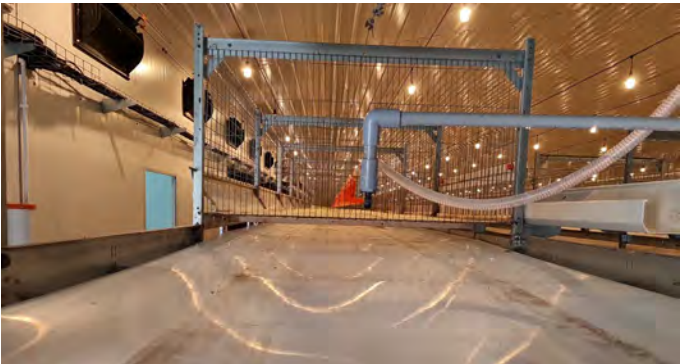
NEMA1で糞尿収集システムを備えた農場

使用方法	用量	噴霧が必要な面積	使用
コンベア統合スプレーシステム	0.4-1グラム/リットル	カスタマイズ	NEMA1を0.4-1グラム/リットルの比率でタンクに投入します。統合スプレーシステムは、収集コンベアと一緒に動作します。スプレー時間は、コンベアの面積と家畜の数に応じて調整されます。
手動スプレー ボトルを使用した飼育時の臭い処理	20〜40グラム	200-300 m ² 飼育小屋	20リットルの水と混ぜる。飼育場、コンベヤー、糞収集ピットなどでNEMA1電動スプレーを使用する。

*注意:
JVSFは、製品コストを最適化し、労働力を削減するために自動噴霧システムの使用を推奨しています。手動噴霧による臭気処理は、より効果的であり、噴霧位置も多くなりますが、同時に使用コストが高くなります。

もたらされる効果:

- 家禽の健康が改善され、抵抗力が向上します。
- 家禽の成長過程、卵の生産量を増加させる。
- 病原体を運ぶ動物からハエを追い払う。
- 必要な充填材の量を減らし、コストを節約します。
- 高品質の有機肥料を作る
- クリーンな飼育環境を作る
- 廃棄物から発生する悪臭の処理。



NEMA1 - アヒル農場用の自動糞収集システムアプリケーション

NEMA1 における水処理、廃棄物処理

ほとんどの廃水と廃棄物は、システムの設計に応じて、さまざまな処理段階を経る必要があります。JVSFは、有機炭素NEMA1を使用するソリューションを提供し、多くの処理段階で効果的に応用されています。

廃水、廃棄物の収集タンクの処理。
好気性タンク。
泥沈殿池。
泥圧縮段階。



ニーズと既存のシステムに応じて、JVSFは適切なNEMA1を使用したシステム設計を提供します。

炭素有機物を使用する利点:

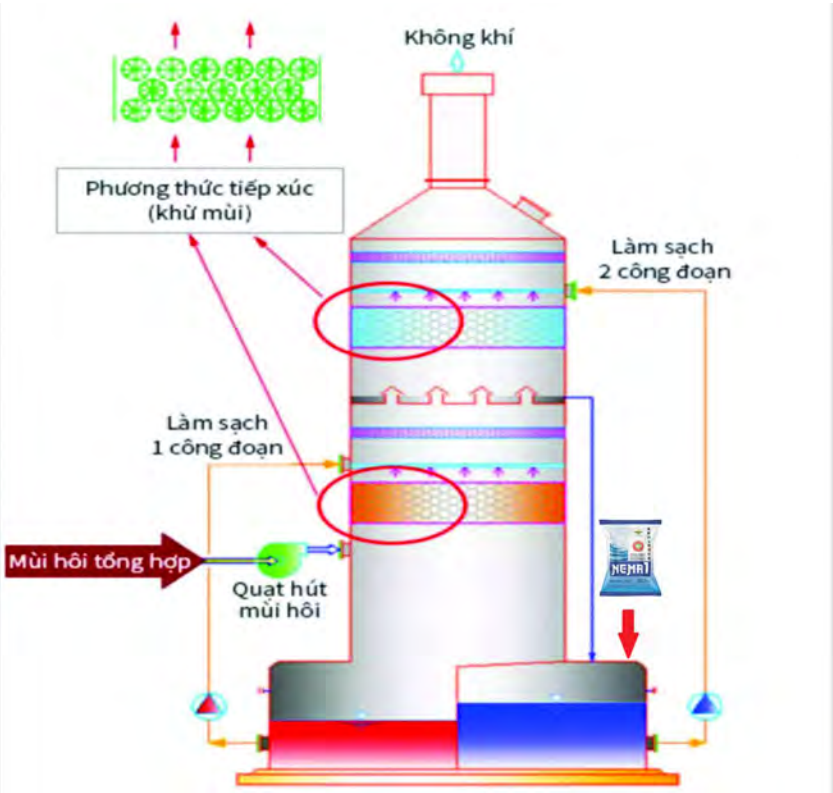
悪臭の軽減、廃棄物の分解、排水。
微生物が発展するための好環境を作る。
処理システムの効率を高め、運用コストを節約します。

NEMA1 における排気システム

炭素有機物の優れた特性により、NEMA1はスクラバーのような集中型ガス処理システムで効果的に使用されています。ごみ処理場、食品工場、畜産施設などのガス処理システムにも応用されています。

使用方法:NEMA1をシステムの循環水に添加します。実際の使用条件に応じて、JVSFが適切な使用量をアドバイスします。

使用方法:



NEMA1 における水産物、家畜、家禽の加工ライン

動物の屠殺は常に悪臭や生臭さを発生させ、労働者に影響を与え、環境に悪影響を及ぼします。JVSFは動物加工業界における有機炭素の使用を推奨しています(*)。

使用:

用量	使用面積	噴霧頻度	使用
15-20グラム/ 10リットルの水	100 m ²	1回/日 (または清掃時に噴霧)	- 均等に噴霧する場所は、臭いが発生するエリアである貯蔵タンク、導水路、コンベア、前処理テーブル、包装、床、製品、付随品、廃棄物の保管エリアなどです。 - 規模に応じた適切な噴霧量と頻度の調整。

器具: 背負式スプレーまたは洗浄システムを統合して使用します。

NEMA1の効果:

屠殺後の悪臭や生臭さを除去する。
自然にハエを追い払う。
有機物質の迅速な分解: 糞、血液、…
食品の衛生と安全を確保する。
消毒剤、洗浄剤を節約する。
(*) 有機炭素 (Nema1) は人間や動植物に非常に安全で、食品原料と直接接触することができます。



製品認証



JAS (日本農林規格) :
JAS-OMJは、日本の林業、水産業、農業省によって評価され、認定された証明書です。製品の品質と消費者の安全性に関する厳格な審査プロセスを経ています。JAS-OMJは、世界中で最も信頼されている有機製品の基準の一つと見なされています。





JV Smart Future



サポートコンサルティング
24/7 無料

株式会社日越スマートフューチャー

Japan Vietnam Smart Future Joint Stock Company (JVSF)

本社所在地: ベトナム・ロンアン省ドゥックフエ郡ミータインドン村4区

ホットライン: (+84) 945-30-60-68

メール: info@jvsf.vn ウェブサイト: <http://jvsf.vn>



NEMA1

